



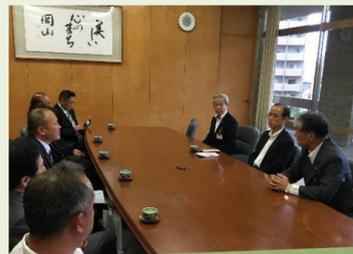
熊本地震募金活動



造山古墳整備打合せ



浜松市行政視察(特別自治市について)



市長要望(岡山廃棄物リサイクル協同組合)



金沢市行政視察(防災施設について)



地域要望打合せ(土木農林分室)

岡山西部総合公園整備(仮称)

緑に包まれた空間の中で、軽スポーツやレクリエーションなどを楽しみ、心身ともに健康増進を図る。また、防災公園としての機能を担う公園とする。

施設概要

- 公園面積：14.3ha
- 総事業費：130億円(用地費80億円、整備費50億円)
- 公園施設：芝生広場、イベント広場、こども広場、多目的広場、駐車場、管理棟(鉄骨造2階建、延べ面積1,460㎡)など
- 防災施設：耐震性貯水槽、マンホールトイレ、防火倉庫、ヘリポートなど



※現在、多目的広場の整備を行っており、平成34年度に全ての整備が完了する予定です。

松田たかゆき 事務所

TEL & FAX / 086-287-5697

〒701-1333 岡山市北区立田140番地8
E-mail / t-matsuda@takayuki-matsuda.com
http://www.takayuki-matsuda.com

- 所属委員会
経済委員会
大都市制度調査特別委員会 副委員長
- プロフィール
三井造船船玉野造船所(7年間勤務)
岡山市役所退職(35年間勤務)
建設設備の設計施工管理
環境局関連事業
廃棄物事業・地球温暖化対策事業
ESD国際会議誘致等
(公財)岡山市ふれあい公社(2年間勤務)
児童・高齢者・障害者福祉事業



松田たかゆき 市政活動報告

Vol. 3



ごあいさつ

日増しに寒気が加わる今日このごろ、皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。今回の市政活動報告【Vol3】では、平成28年6月及び、9月定例市議会における個人質問や、ここ半年間の活動の一部をお伝え致しますのでご覧ください。

岡山市議会議員 松田隆之

Topics

西消防署(仮称)吉備津出張所・高松地域センター

工期：平成28年7月26日～平成29年3月21日
鉄骨造3階建て 延床面積 908.29㎡
1階：消防車庫、事務室など
2階：地域センター執務室、消防仮眠室など
3階：会議室など



市立庄内認定こども園

市は、一定の人口規模となる小学校区を組み合わせ、市内に30の教育・保育提供区域を設定、一区域で既存の市立幼稚園・保育園を市立認定こども園に移行させる方針を示しており、高松、足守区域では庄内幼稚園が市立認定こども園候補園となっており、移行に向けた協議が始まっています。認定こども園とは、幼稚園と保育園の両方の良いところを活かし、学校教育・保育・子育て支援を総合的に提供できる施設です。



日本遺産

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」に認定すると共に、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図るものであり、年に一回文化庁が都道府県を通じて公募します。認定件数は、2015年から2020年までに100件程度を予定しており、昨年18件を認定、今年は67件の申請があり19件が認定されました。



鬼ノ城(総社市)

吉備津神社(岡山市)

岡山駅路面電車乗り入れ計画案(検討中)

市は、公共交通の利便性向上と中心市街地の回遊性向上を目的に、路面電車の岡山駅前広場への乗り入れを検討しています。

計画案の概要

- ・路面電車は駅前交差点を平面で通過し、噴水付近に駅電停を新設する。
- ・既存の駅前降車電停を乗降併用の電停とする。
- ・バスターミナルの出入口を南方向に移設する。



6月

定例岡山市議会 質問と答弁（抜粋）

質問項目

- 浸水対策について
- 区別計画の策定について
- 吉備路の観光振興について
- 保育施設の未入園児童の解消について

吉備路の観光振興について

- Q 造山古墳には、休憩場所、体験場所や出土品パネル等の展示建物もない。千足古墳整備後は、駐車場不足は明らか、駐車場の拡張と建物整備が出来ないか。

第1級の文化財を観光資源として生かし、来訪者の増加につなげていくことが課題。地元ボランティアガイドの方々が、安心して円滑に活動ができるよう、再度、現地を見させていただき改善できるところは検討する。



- Q 吉備路自転車道の整備内容は、また、パンフレットを作成してもらいたい。

路面の段差が見られたり、案内看板の分かりにくさや、老朽化など改善点もある。

今年度は、観光振興も念頭に統一的な案内表示や路面サイン、情報発信・ルートマップの作成等について検討したい。



- Q 「吉備路道の駅」の課題と可能性についてお示し下さい。

吉備路エリアでは、山陽自動車道吉備サービスエリア、国民宿舎サンロード吉備路があり、施設の利用動向も注視しながら、吉備路の周遊促進策の一つとして、引き続き研究したい。

浸水対策について

- Q 足守川のJR吉備線上流域の改修時期及び、堤体の漏水箇所や堤防高の不足箇所は把握していますか。

JR吉備線以北の河川改修については県や国に対し早期改修を要望していく。また、緊急対応の必要箇所は、県が地元要望を受けて今年度も土砂の撤去や堤体の補強盛土などを実施予定。堤体の漏水の恐れのある箇所や高さの不足箇所については、岡山市地域防災計画に重要水防箇所として位置付けている。

- Q 農林排水機場の稼働指示や、確認、非常時の連絡体制はどのように行っているのか。

農林排水機場の運転は複雑な水位調整が必要となるため、地元農業者等に運転をお願いしている。ゲリラ豪雨などが予測される場合には、地元用水関係者や運転員と連絡対応を行っている。地域の実情も踏まえ、全庁的な取組として更に強化したい。



- Q 農業水利土木員、水利監督員の報酬額は倉敷市総社市に比べ極端に低い。早急に見直すべき。

現在の報酬額は、改定から既に20年を経過しており情勢の変化を踏まえて業務内容等を調査したうえで検討したい。

保育施設の未入園児童の解消について

- Q 未入園児童が過去最多となった要因は。

合併後8年間、入園申し込み増加数は毎年200人程度だったが、今年は900人近く増加した。経済情勢、共稼ぎの増加に加え、保育環境の整備充実が潜在ニーズを掘り起こしたことも要因と考える。

- Q 保育士不足人数は。賃金の見直しや任期付き職員の採用をすべきと考えるが。

保育士不足人数は、約100人から130人程度。また、臨時保育士の賃金は、今年1月に見直したが、引き続き処遇改善に努める。保育士の採用は、多様な雇用形態の活用も含め、協議する。



9月

定例岡山市議会 質問と答弁（抜粋）

質問項目

- 前期中期計画と区別計画について
- 公民連携と足守地域の未利用校舎等について
- 都市づくり計画について
- 連携中枢都市圏の形成に向けて
- ごみ収集について

公民連携と足守地域の未利用校舎等について

- Q 民間活用アイデア募集は何を期待したのか、提案内容と評価はどうか。

市では、6件の未利用財産について、民間活用の可能性を探るため、アイデア募集を行い、営利法人4件、非営利法人1件から提案がありました。提案内容は、福祉系施設、水産物の養殖、フリースクールと、（豊小学校の）住宅用地です。地元関係者と協議しましたが、施設の利用状況等から、（豊小学校の）住宅用地以外は十分な理解をいただけていません。民間ならではの活用方法が提案されたことは成果でした。



- Q 足守地域の方々の再活用に対する声は聞いていますか。要望書の対応と今後の対応は。

地域の方から出された再活用についての声や要望書については、真摯に受け止め関係各課で協議・対応し、考えを伝えて来ました。今後も、いただいたご意見には丁寧に対応いたします。



吉備路の日本遺産登録に向けて

- Q 連携中枢都市圏協議会の場で、「古代吉備王国の繁栄をテーマとして、総社市・岡山市・岡山県と協力し、日本遺産の登録申請に向けた協議を始める。」と説明されたが、その後の協議内容と課題、目的、スケジュールと見直しをお示し下さい。

7月12日に岡山市、総社市、県の関係者で吉備路エリアをテーマに共同申請に向けて協議を重ねることを確認した。最大のポイントはストーリー性をつけていくことで、古代吉備王国の繁栄というものも1つありますが、やはり桃太郎のまち岡山、その視点からのアプローチが必要と思っている。認定は、情報発信に非常に有効だと考えており早期の申請を目指して対応していきたい。ストーリー化が鍵だと思っており、いい知恵があればどんどん吸収していくというのが重要だろうと思っている。

まちづくり計画について

- Q 「コンパクトでネットワーク化されたまちづくり」を進めるなか、高松、吉備津など、周辺地域拠点の居住系市街化区域の拡大についてお示し下さい。また地元の意見は聞いてくれるのか。

市は、優良農地の確保に努める一方で、駅周辺などの公共交通の利便性の高い市街化区域周辺の地区等においては、コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくりの考えに沿った土地の利活用も有効な場合があり、そのような地区においては、農林漁業との調整を図りながら、市街化区域への編入なども検討したい。吉備線沿線では、LRTの具体化に併せ、駅周辺に生活利便施設や人口を緩やかに誘導するために、必要に応じて市街化区域への編入も必要と考える。なお、市街化区域編入の場合は、説明会や意見書の提出、広聴会の実施など地元の意見をしっかりと聞きします。

- Q 進行中の「立地適正化計画」の居住誘導区域と都市機能誘導区域の考え方を示して下さい。

立地適正化計画は、概ね20年後の都市の姿を展望し、市街化区域内の鉄道駅周辺などの拠点に、商業、医療、福祉など都市機能を誘導する区域を定めるとともに、公共交通の利便性の高い地域に居住を誘導する区域を定め、公共交通施策などと連携しながら、都市機能や居住の緩やかな集積を図ることで、持続的に発展可能なまちづくりを目指す制度であり現在検討を進めています。